

# 最近の経済動向

## 令和3年10月号

(北海道の景気動向～令和3年8月の経済指標を中心として)

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

### ■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)  
持ち直しの動きが続いている

### ■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、  
インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)  
一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている

P6 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
持ち直しの動きに弱さがみられる

P7 公共工事(公共工事請負金額)  
おおむね横ばいとなっている

P8 観光(来道者数、来道外国人数)  
弱い動きが続いている

P10 輸出入(輸出額、輸入額)  
輸出額、輸入額とも前年を上回った

### ■企業倒産

P11 企業倒産(倒産件数、負債総額)  
倒産件数、負債総額とも増加した

### ■雇用動向

P13 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)  
弱い動きが続いている

### ■物価動向

P15 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を上回った

### ■企業の業況感

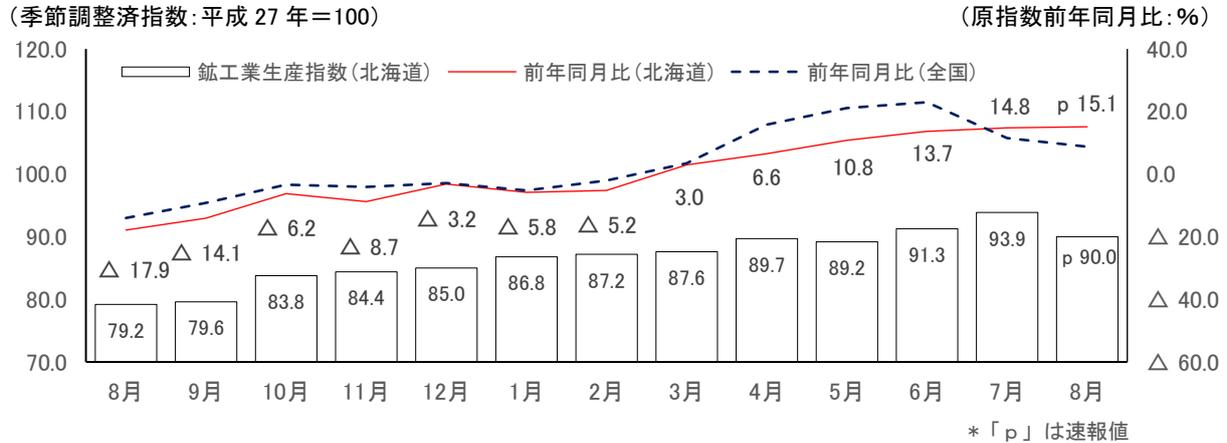
P16 企業経営者意識調査  
前期から下降している

P17 企業のみなさまから伺いました

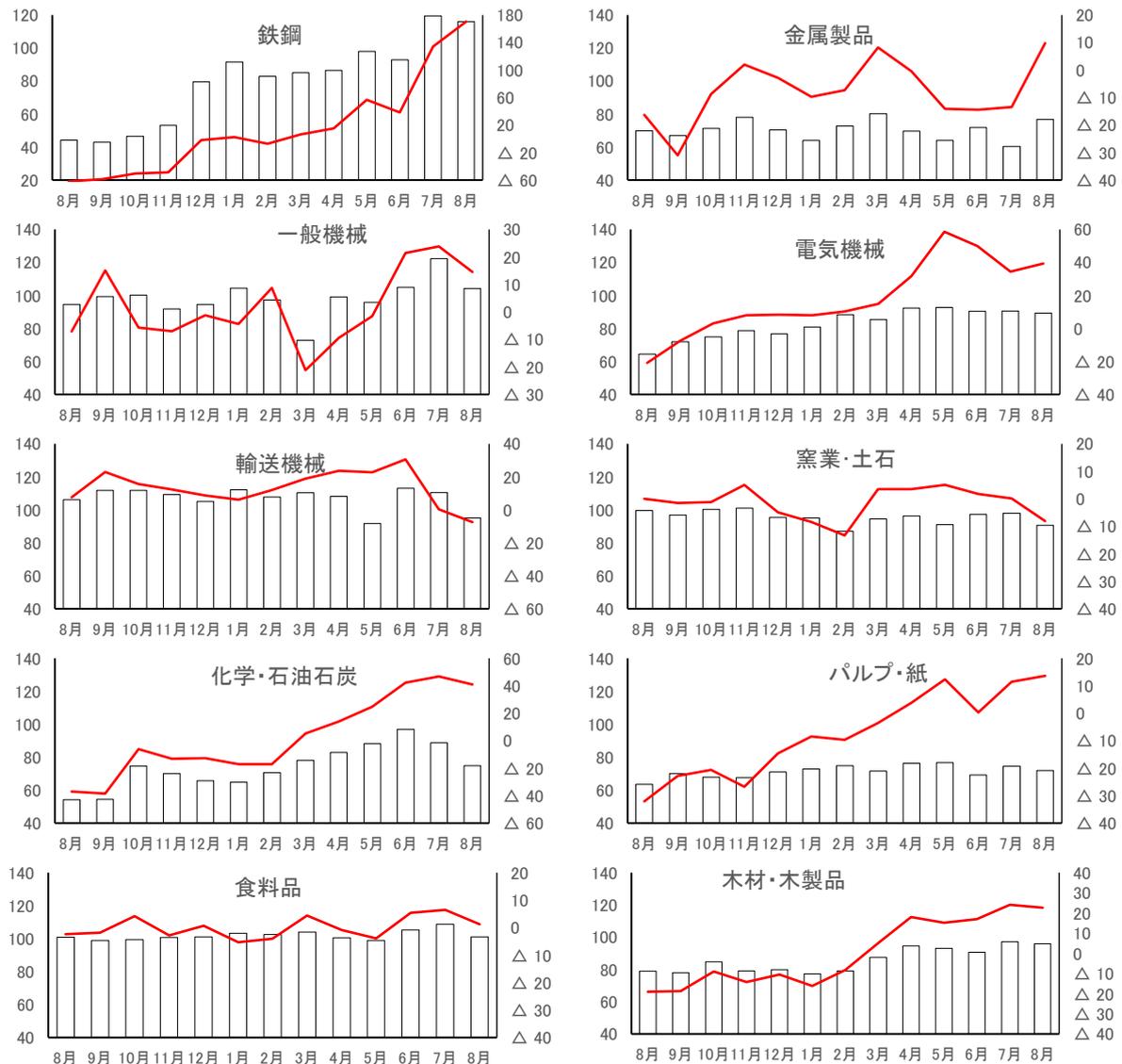
# 生産活動～持ち直しの動きが続いている

## 鉱工業生産指数（8月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、90.0で前月比▲4.2%(3か月ぶりに減少)であり、原指数による前年同月比は、15.1%(6か月連続で上昇)となった。業種別にみると、金属製品工業など4業種が前月比上昇、化学・石油石炭製品工業など11業種が前月比低下となった。



### ■主な業種の季節調整済指数(右軸:原指数前年同月比%)

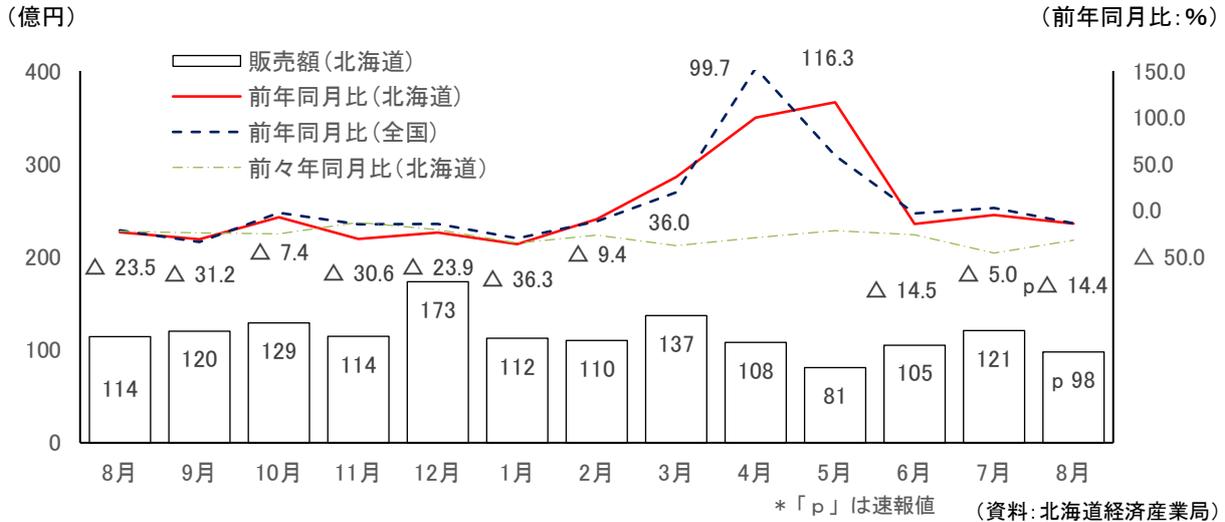


(資料:北海道経済産業局)

# ■個人消費～一部が低い水準にとどまるものの、持ち直しの動きが続いている

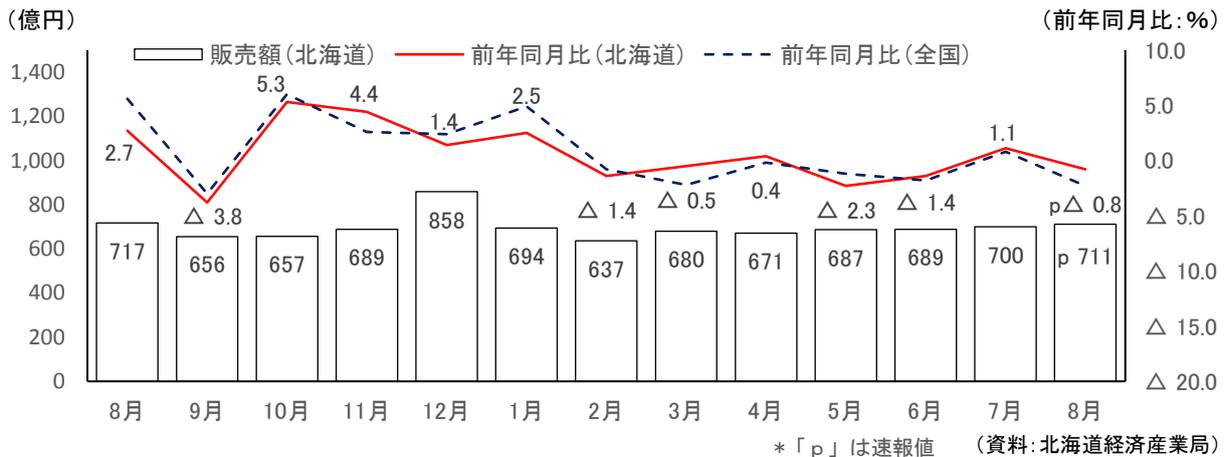
## 百貨店販売額（8月）

百貨店販売額は、98億円で前年同月比14.4%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



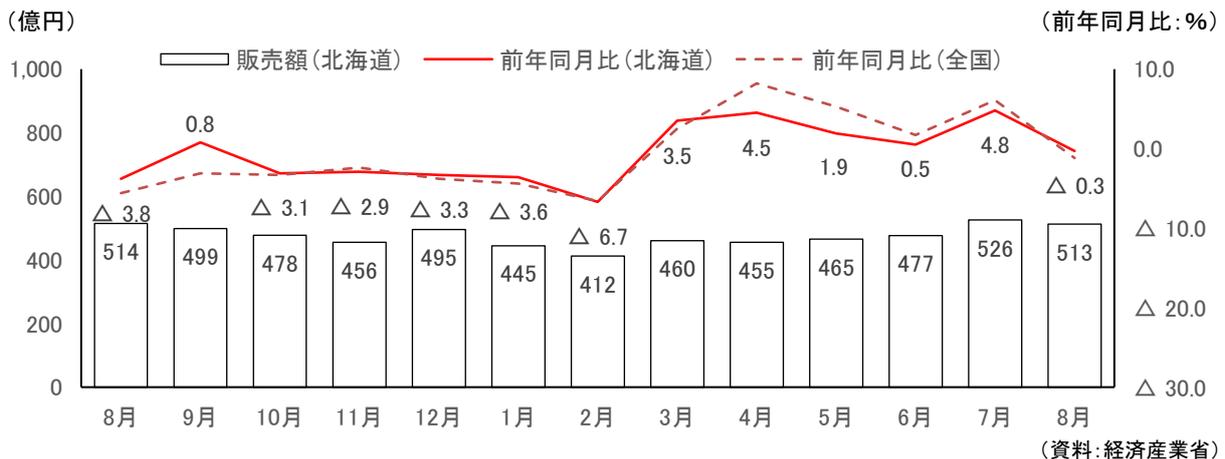
## スーパー販売額（8月）

スーパー販売額は、711億円で前年同月比0.8%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



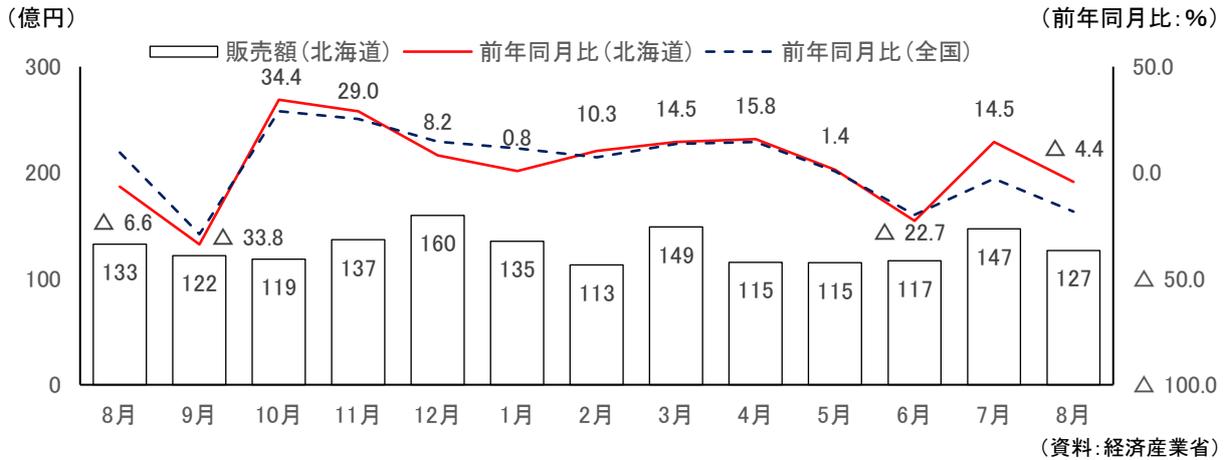
## コンビニエンスストア販売額（8月）

コンビニエンスストア販売額は、513億円で前年同月比0.3%の減少となり、6か月ぶりに前年を下回った。



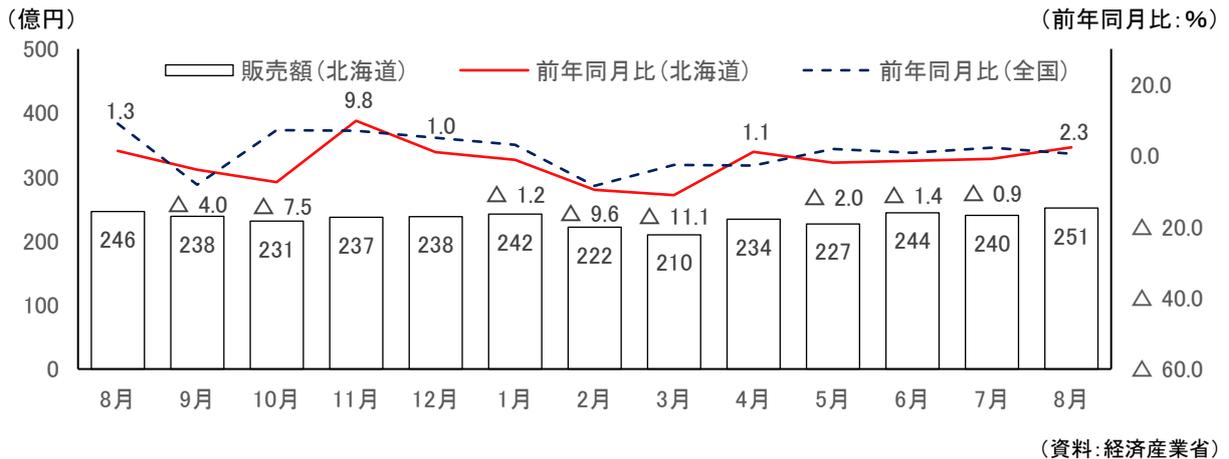
## 家電大型専門店販売額（8月）

家電大型専門店販売額は、127億円で前年同月比4.4%の減少となり2か月ぶりに前年を下回った。



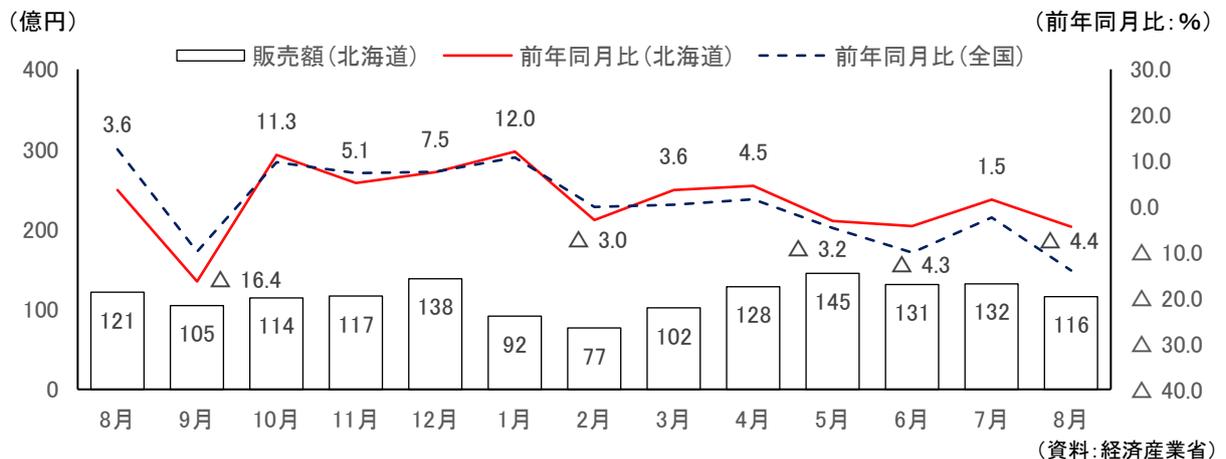
## ドラッグストア販売額（8月）

ドラッグストア販売額は、251億円で前年同月比2.3%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。



## ホームセンター販売額（8月）

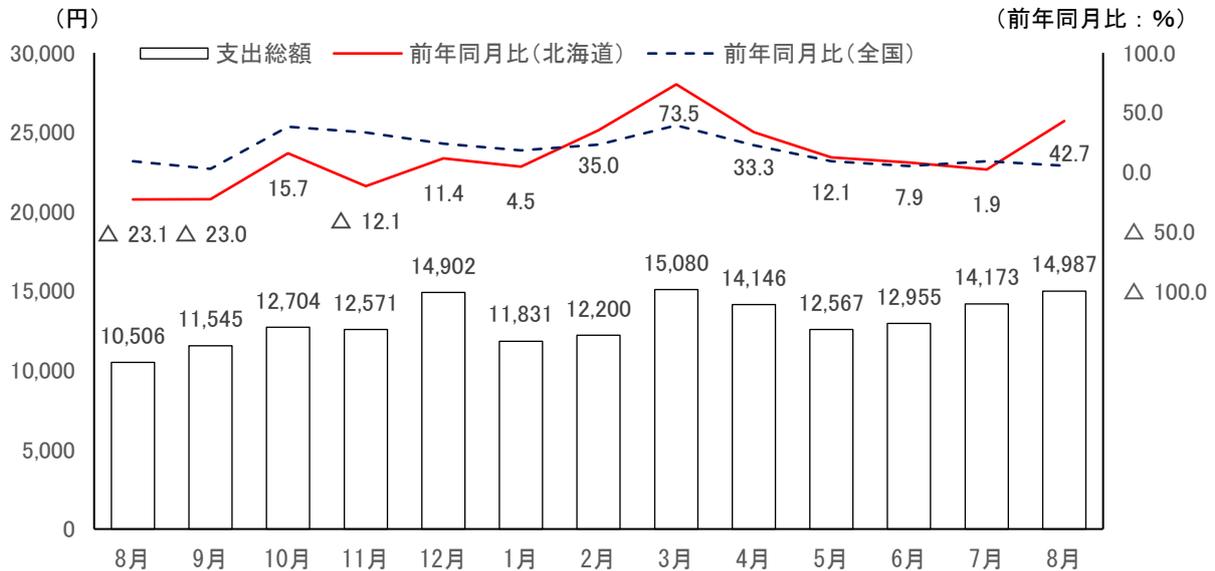
ホームセンター販売額は、116億円で前年同月比4.4%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



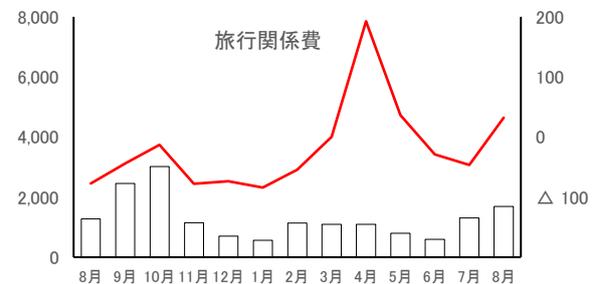
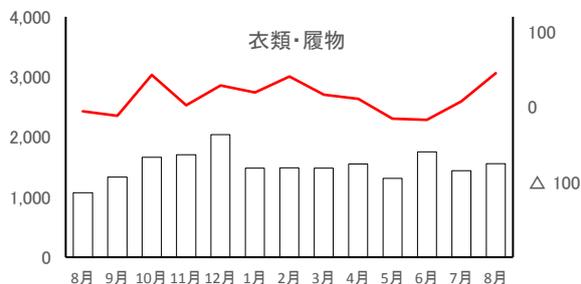
## インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出（8月）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出総額は14,987円で、前年同月比42.7%の増加となり、9か月連続で前年を上回った。

品目別にみると、食料は2,548円で前年同月比66.8%の増加、家電は1,815円で同69.5%の増加、衣類・履物は1,554円で同45.0%の増加、旅行関係費が1,685円で同31.9%の増加となった。



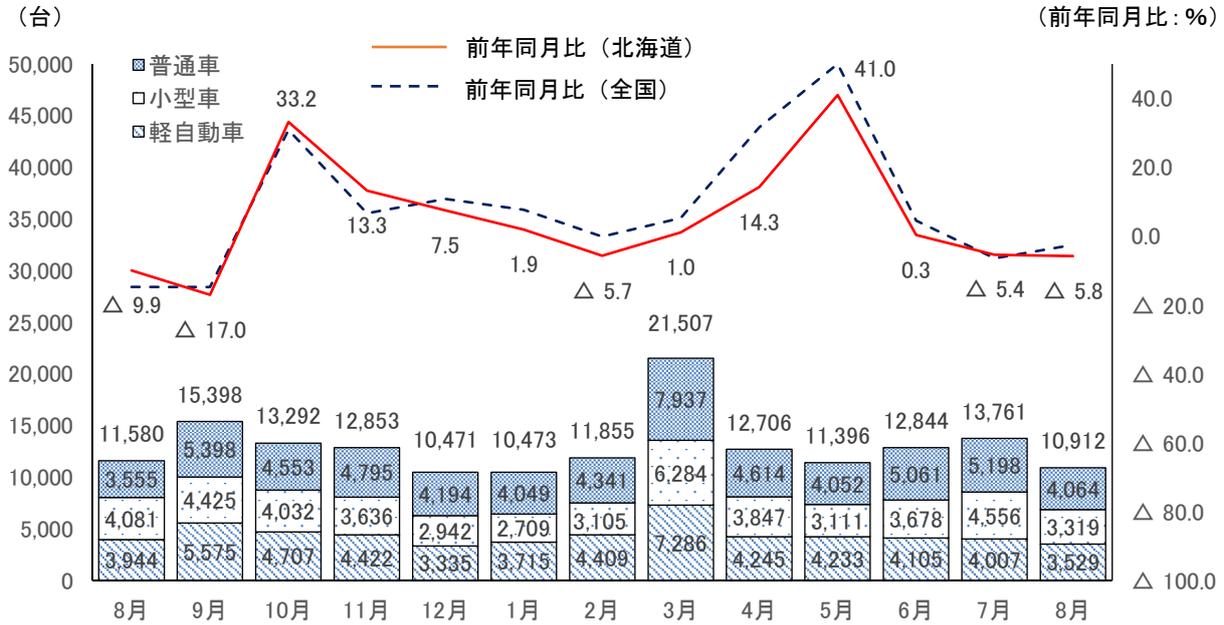
### ■品目別支出額（右軸：前年同月比%）



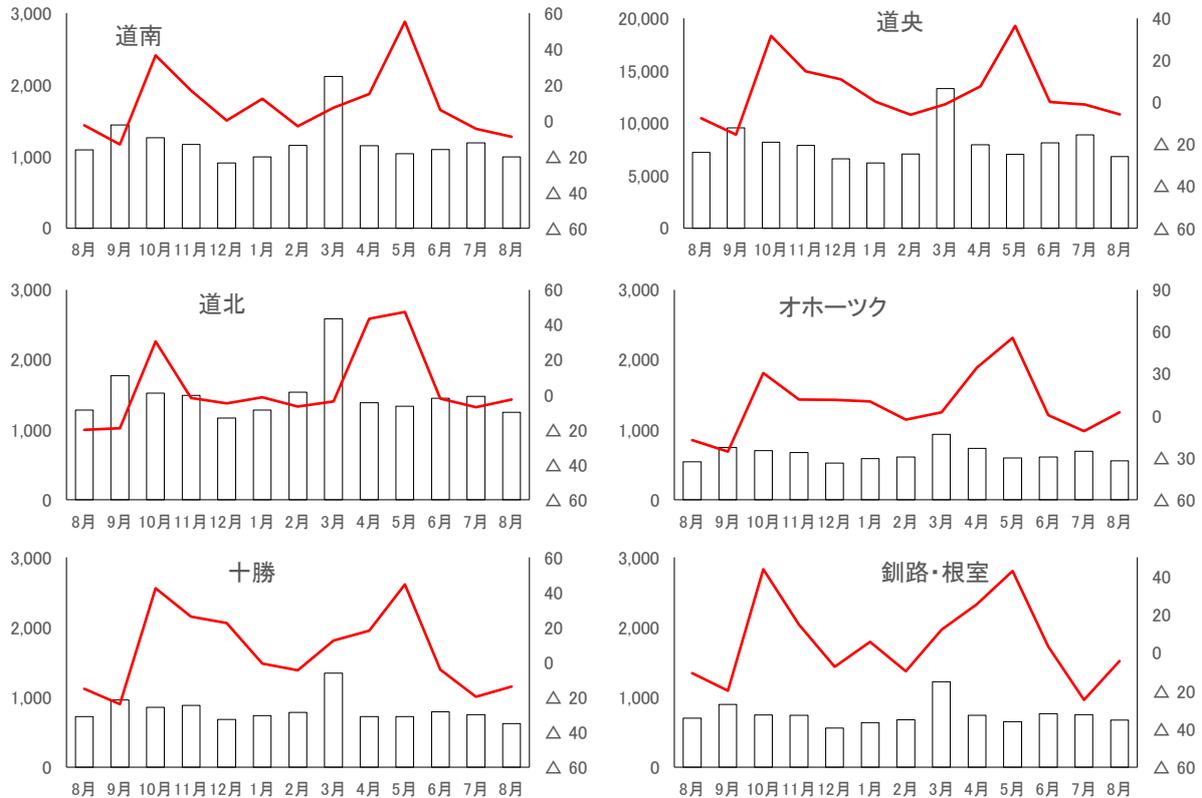
（資料：総務省）

## 新車登録台数（8月）

新車登録台数は、10,912台で前年同月比5.8%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。  
 車種別にみると、普通車は、4,064台で前年同月比14.3%の増加、小型車は、3,319台で同18.7%の減少、軽自動車は、3,529台で同10.5%の減少となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）



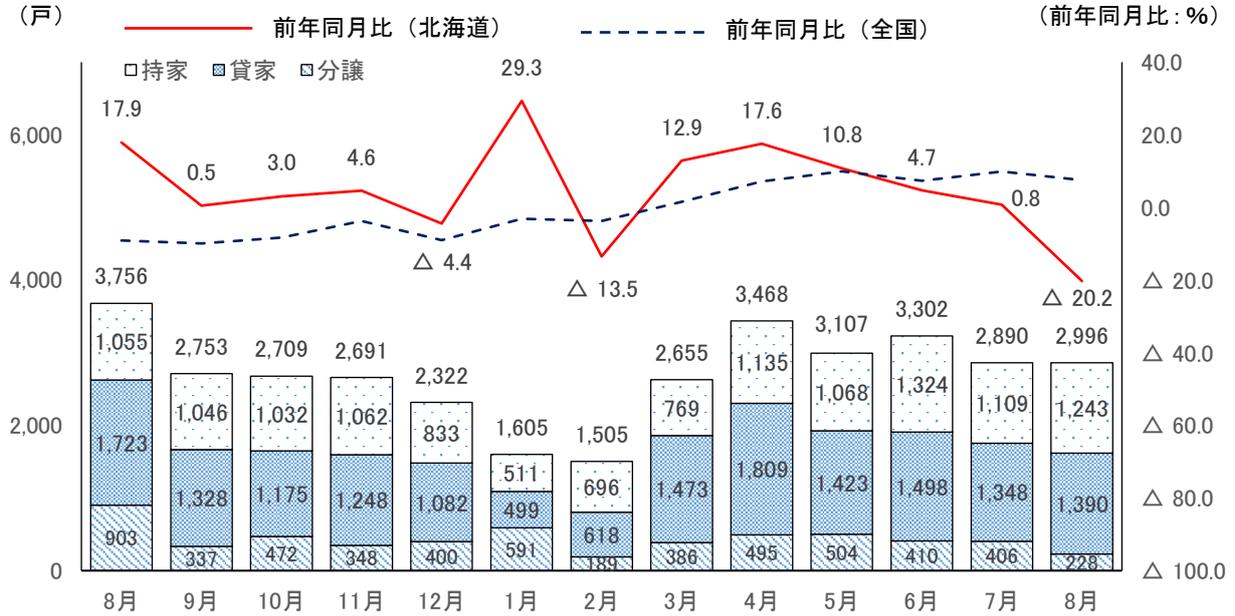
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

# ■住宅建設～ 持ち直しの動きに弱さがみられる

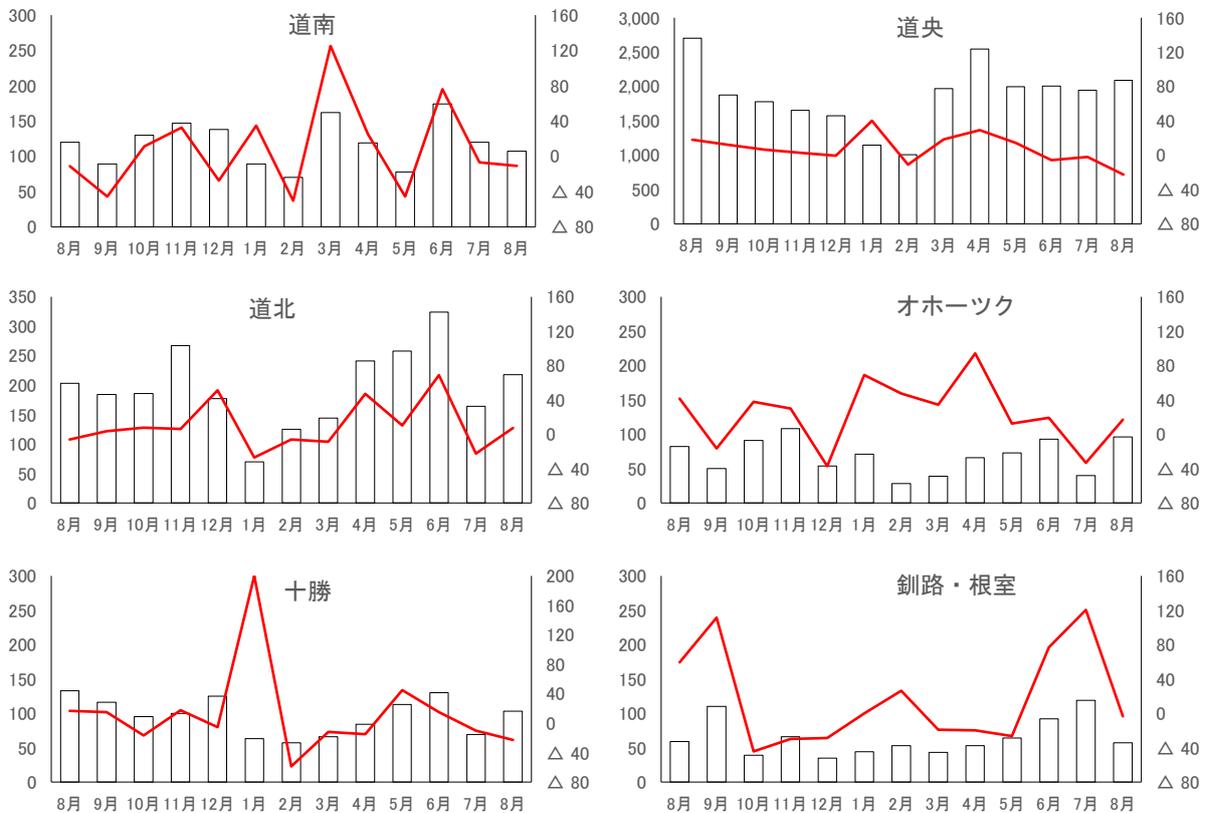
## 新設住宅着工戸数（8月）

住宅着工戸数は、2,996戸で前年同月比 20.2%の減少となり、6か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別にみると、持家は、1,243戸で同 17.8%の増加、貸家は、1,390戸で 19.3%の減少、分譲住宅は 228戸で同 74.8%の減少となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

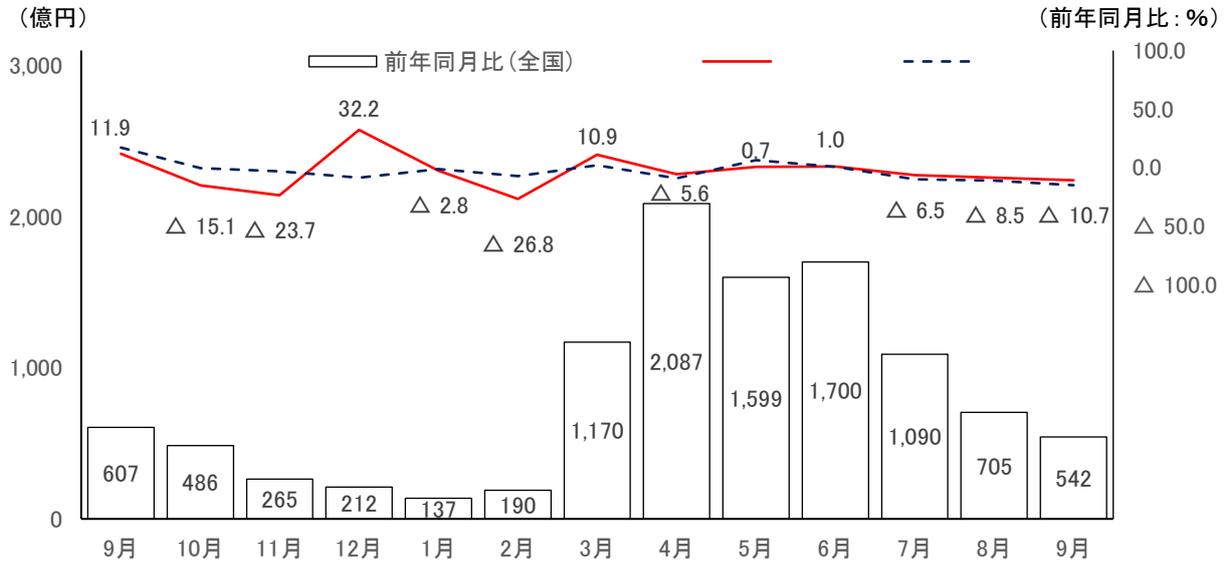


(資料:国土交通省)

# ■公共工事～おおむね横ばいとなっている

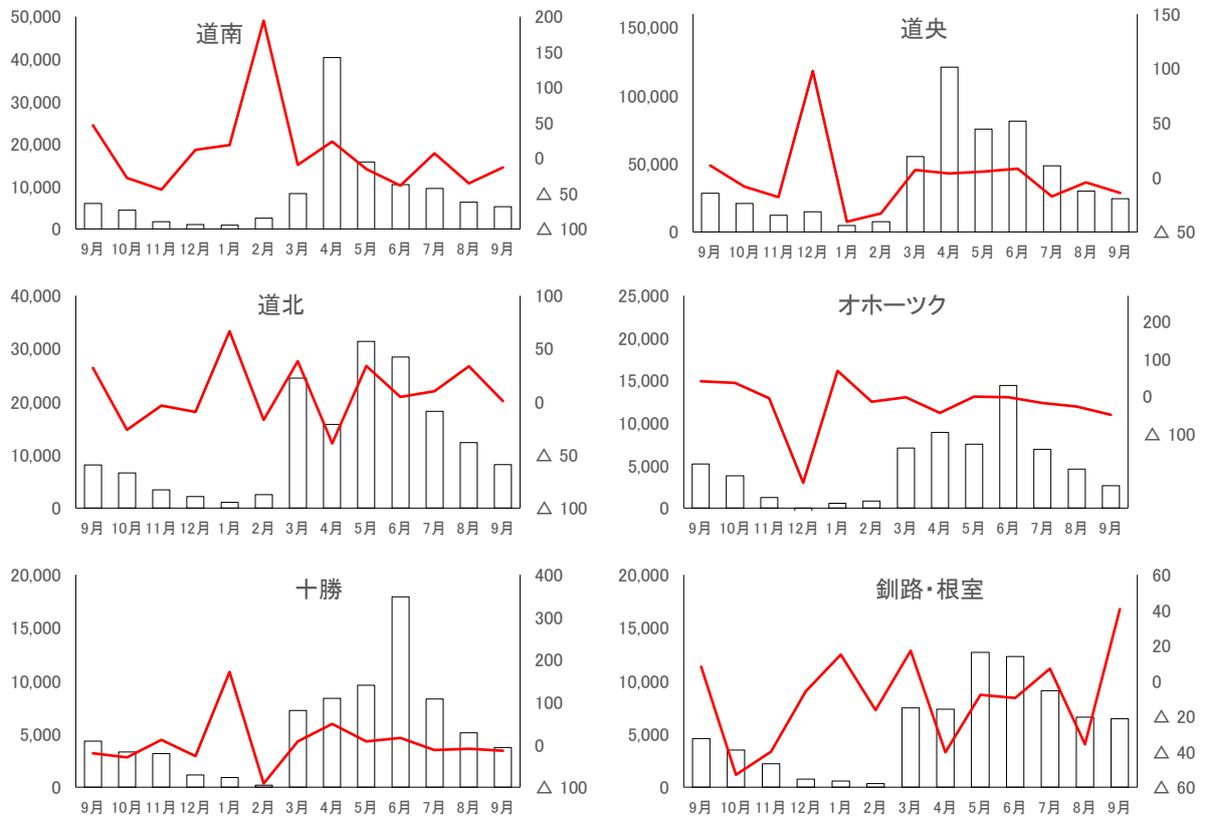
## 公共工事請負金額（9月）

請負金額は、542億円で前年同月比10.7%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



(資料:北海道建設業信用保証(株))

## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）

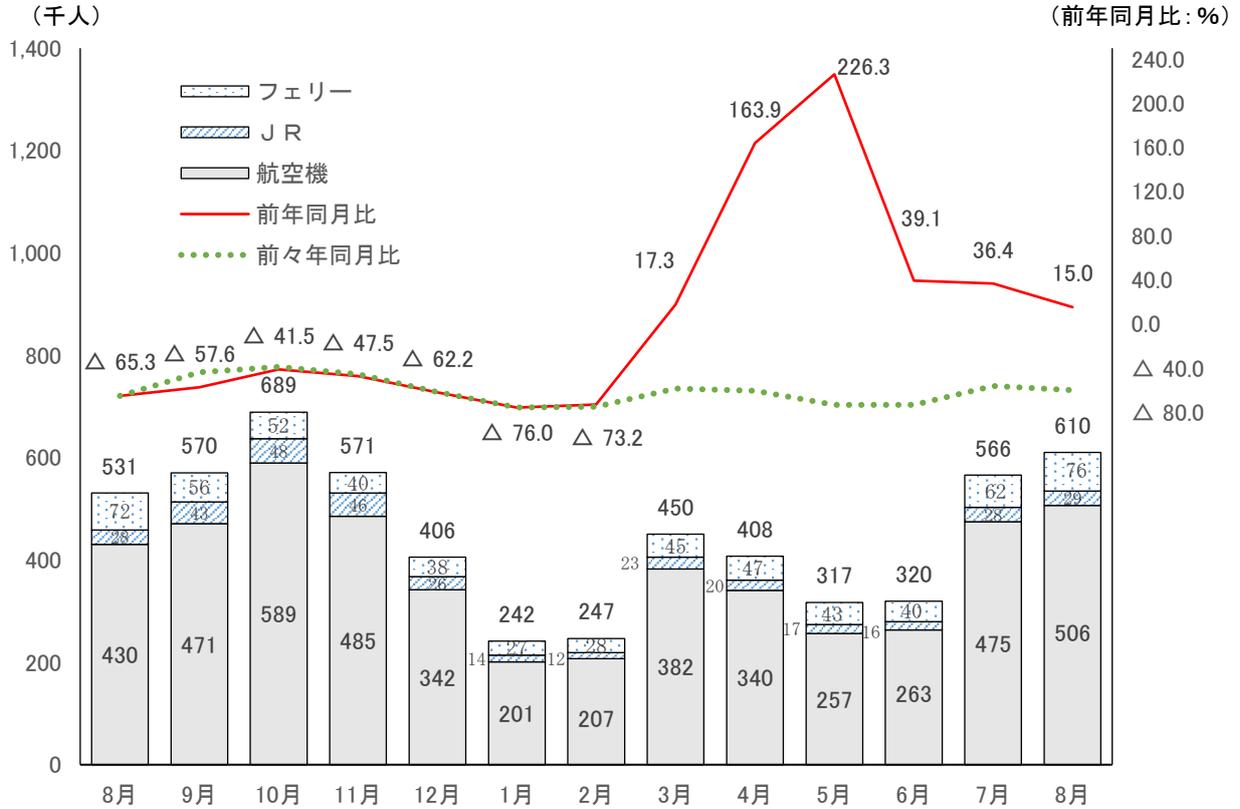


(資料:北海道建設業信用保証(株))

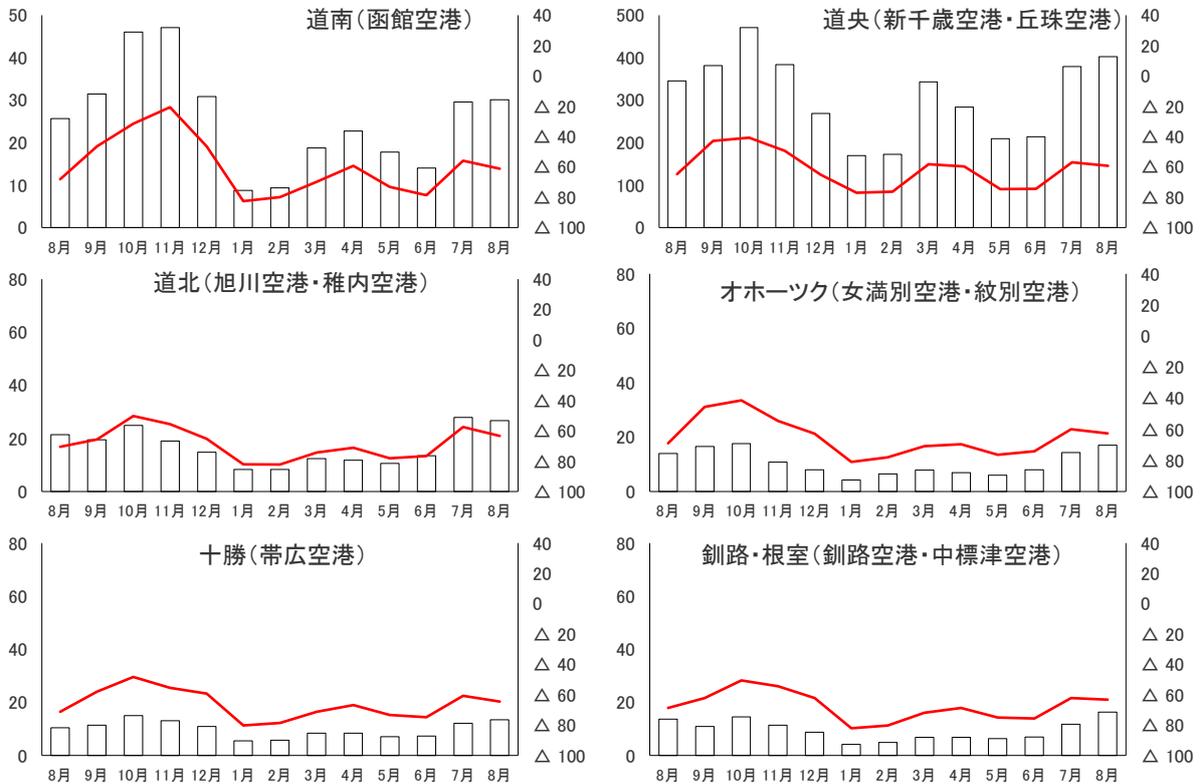
# ■観光～弱い動きが続いている

## 来道者数（8月）

来道者数は、61万0千人で前年同月比15.0%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。



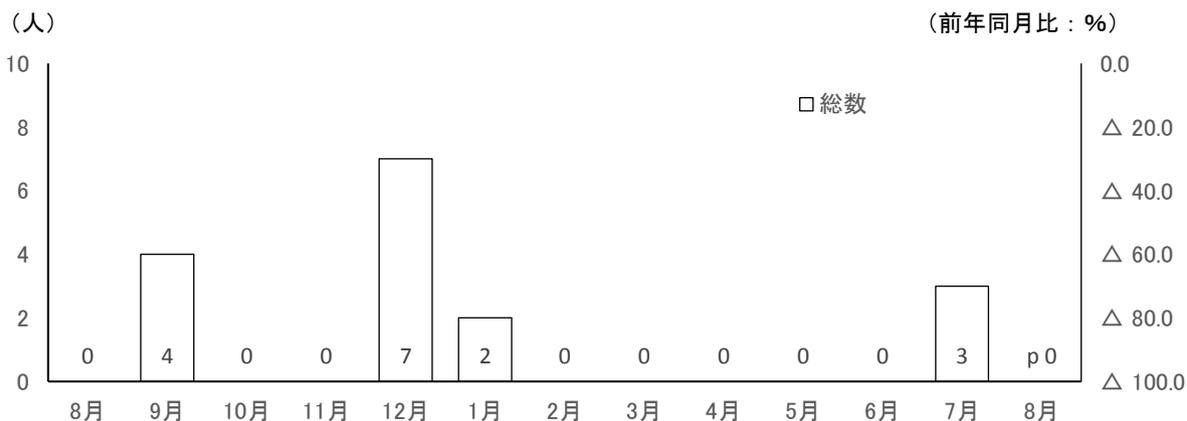
## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：令和元（2019）年同月比%）



（資料：（公社）北海道観光振興機構）

## 来道外国人数（8月）

本道に直接入国した外国人は、0人となった。

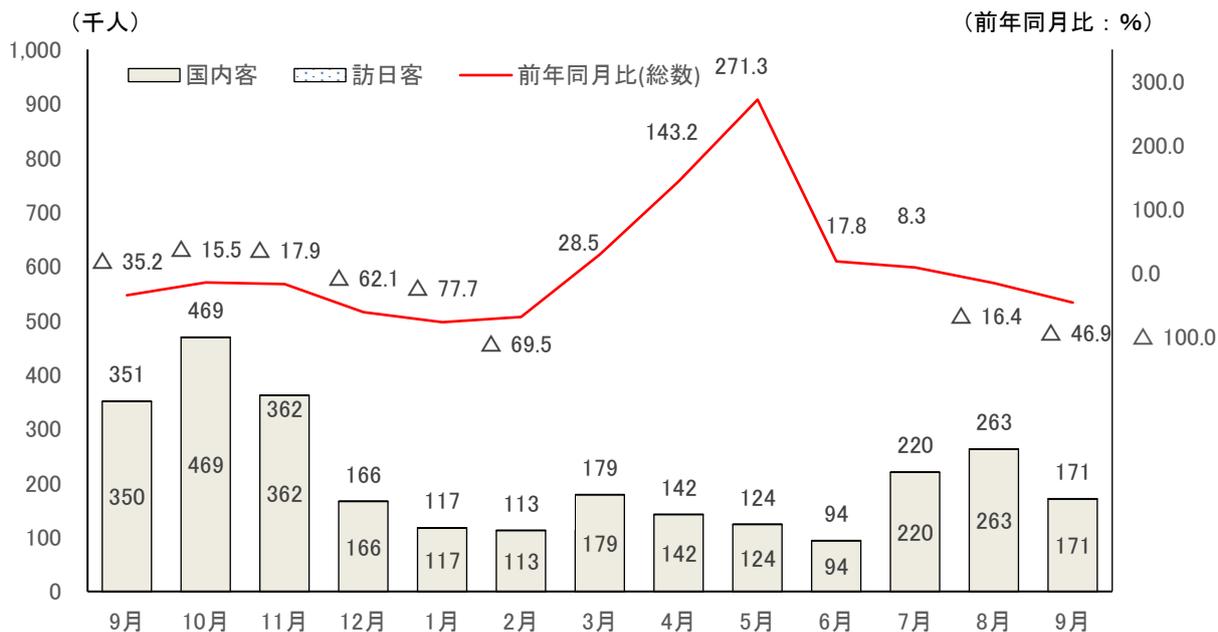


\*「p」は速報値 (資料:法務省入国管理局)

## 宿泊者数（9月）

日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、170,838人で前年同月比46.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

このうち、国内客は170,761人で同46.9%の減少、訪日客は77人で同63.5%の減少となった。



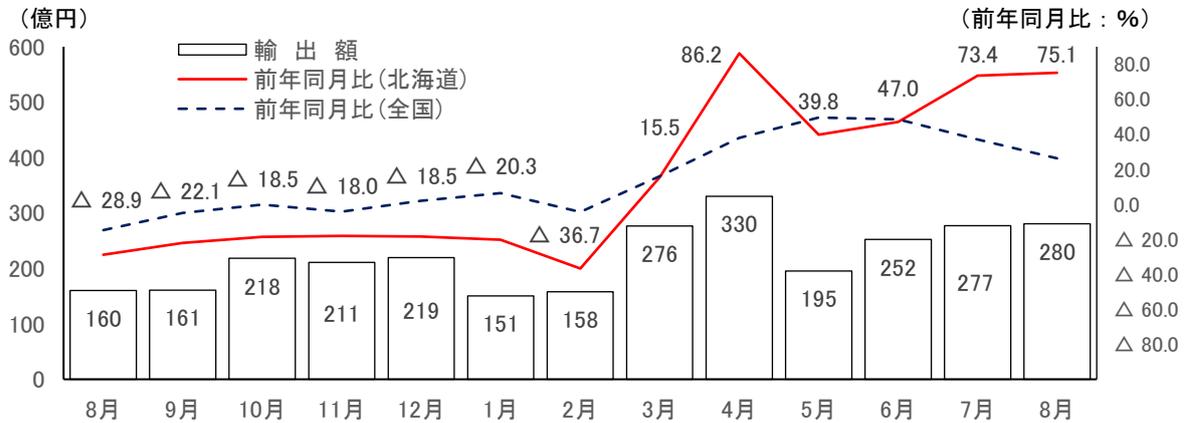
(資料:日本旅館協会北海道支部連合会)

# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

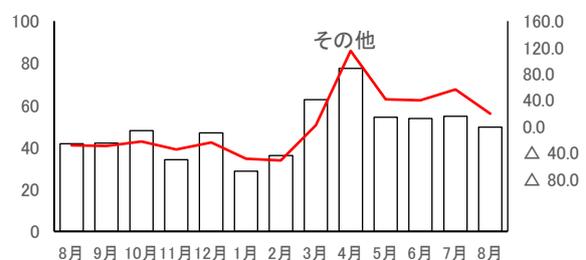
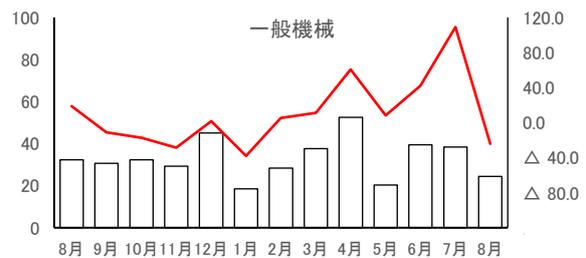
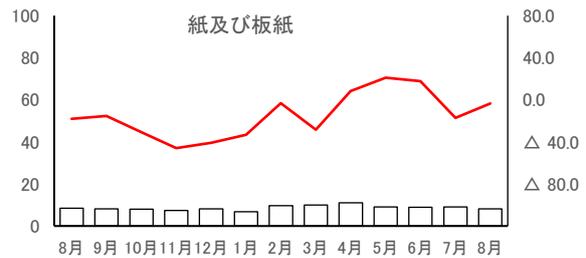
## 輸出額（8月）

輸出額は、280 億円で前年同月比 75.1%の増加となり、6 か月連続で前年を上回った。

品目別にみると、一般機械、非金属鉱物製品などが減少し、魚介類・同調製品、船舶、自動車の部分品などが増加した。



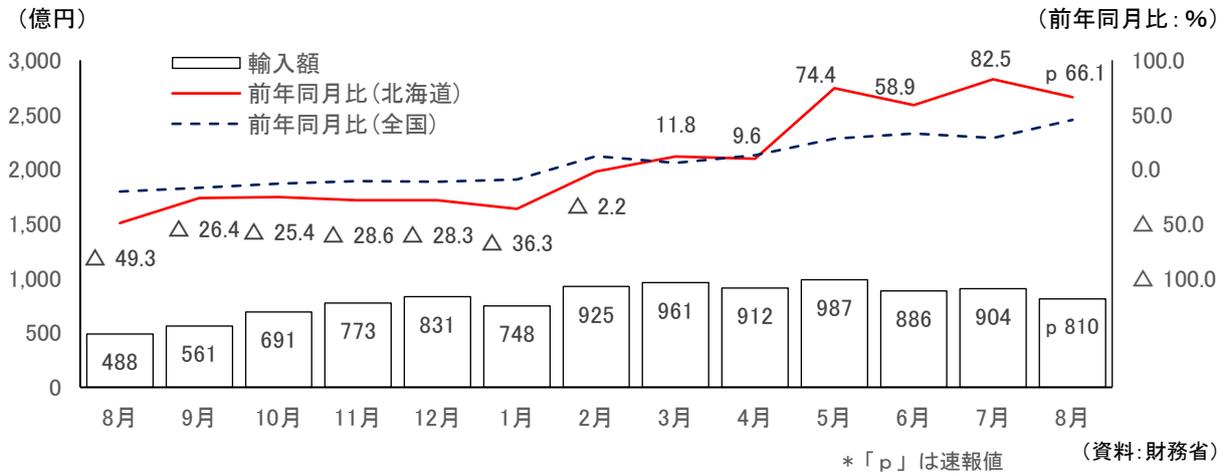
## ■種類別の輸出額（右軸：前年同月比％）



（資料：財務省）

## 輸入額（8月）

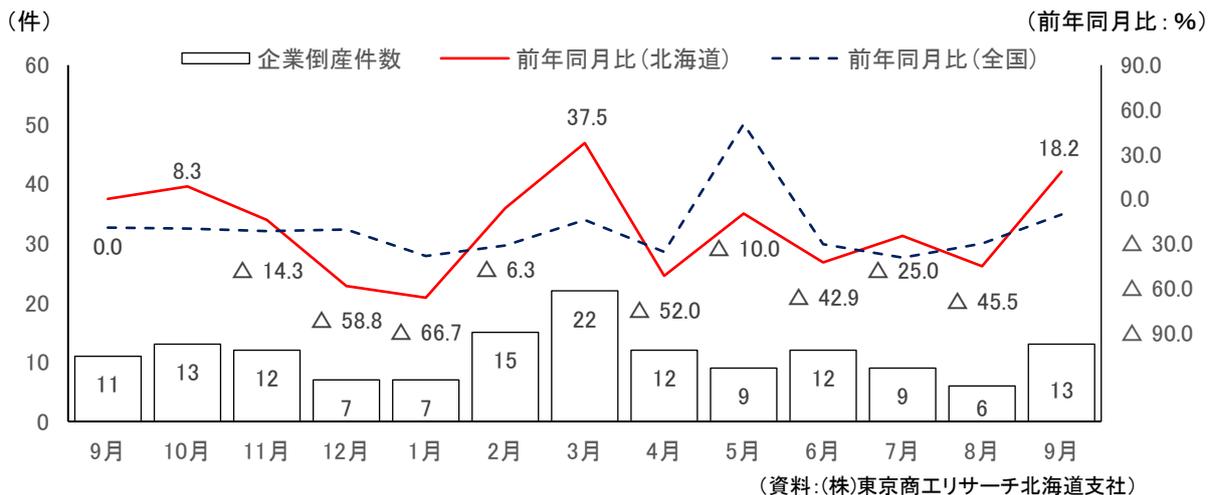
輸入額は、810億円で同66.1%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。  
品目別にみると、再輸入品、肥料などが減少し、原油・粗油、石炭、天然ガス・製造ガスなどが増加した。



## ■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに増加した

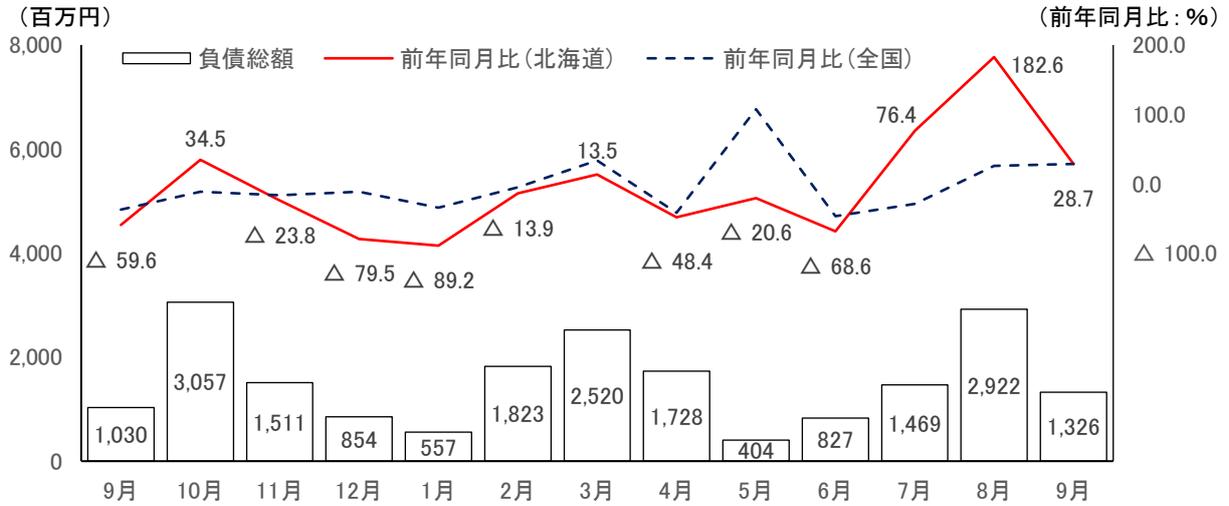
### 倒産件数（9月）

企業倒産件数は13件、前年同月比で2件の増加となった。  
原因別でみると、販売不振が9件(構成比69.2%)であった。  
業種別でみると、運輸業が4件(構成比30.8%)、サービス業が3件(構成比23.1%)、建設業が2件(構成比15.4%)、農林漁業、製造業、卸売業、小売業がそれぞれ1件(構成比7.7%)であった。

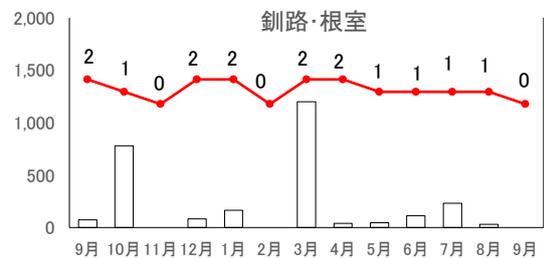
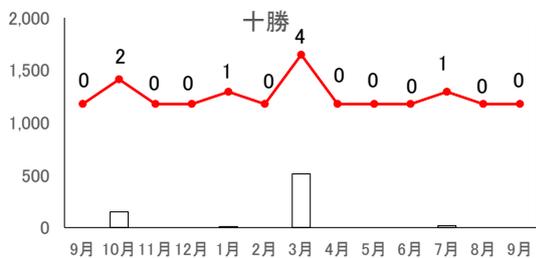
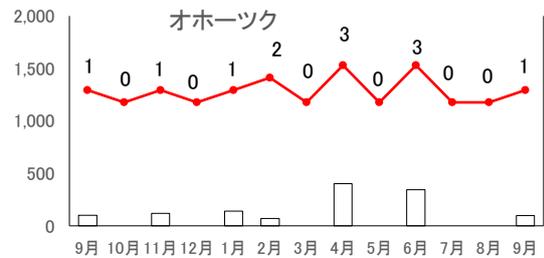
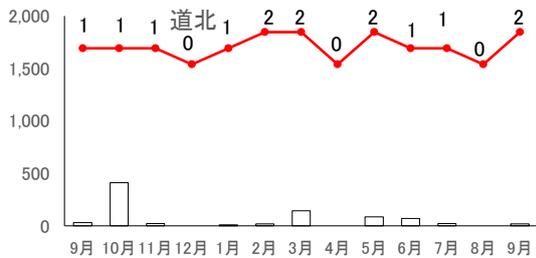
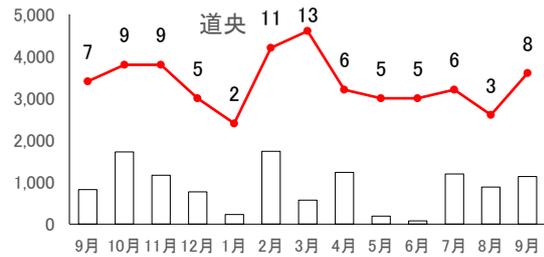
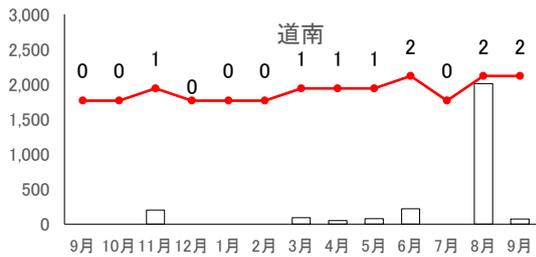


## 負債総額（9月）

負債総額は、1,326百万円で同28.7%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）



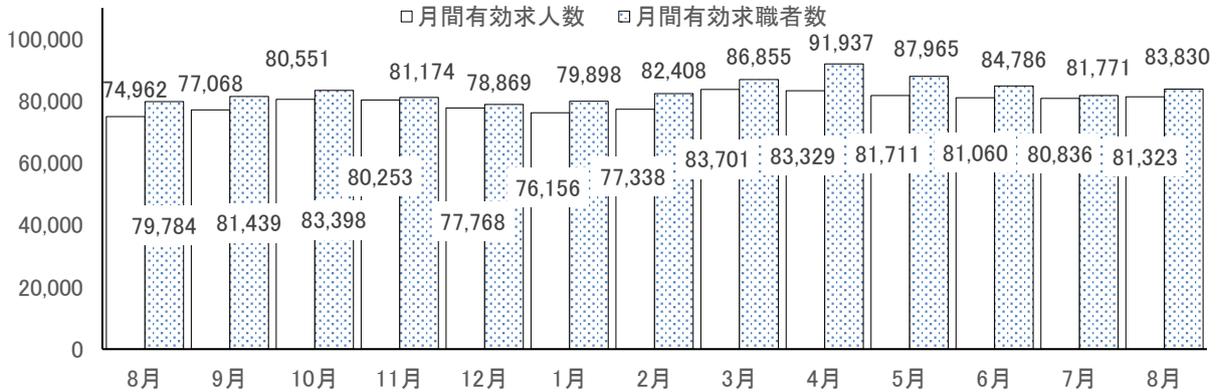
（資料：(株)東京商工リサーチ北海道支社）

## ■求人・求職～弱い動きが続いている

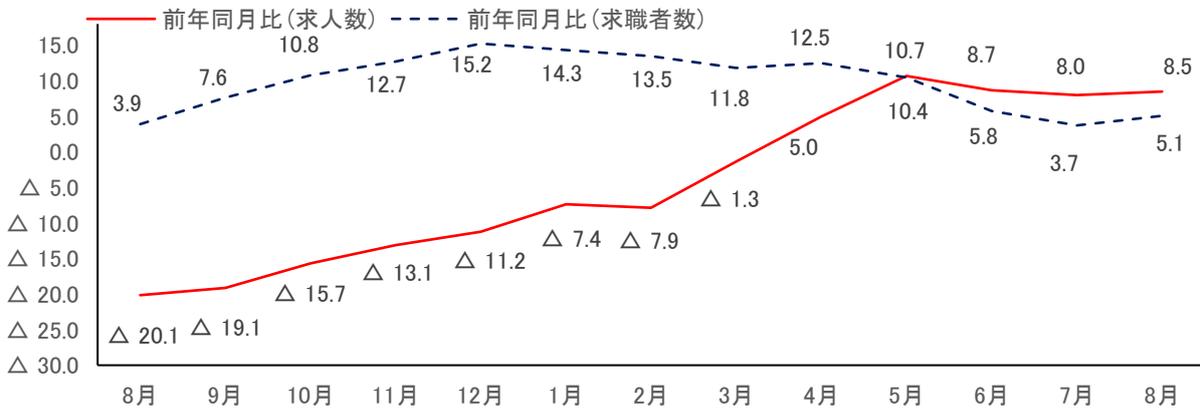
### 月間有効求人数・求職者数（8月）

月間有効求人数は、8万1,323人で前年同月比8.5%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。月間有効求職者数は、8万3,830人で同5.1%の増加となり、14か月連続で前年を上回った。

(人)



(前年同月比：%)



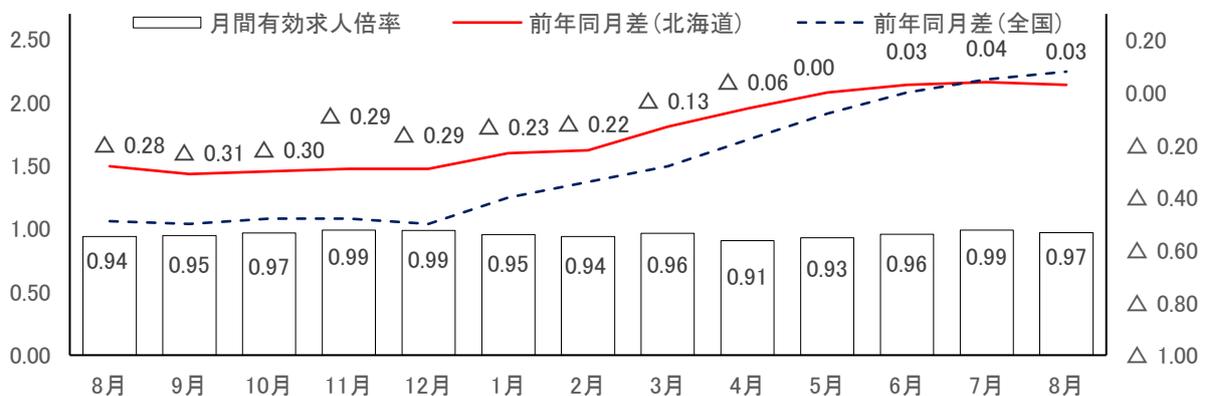
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（8月）

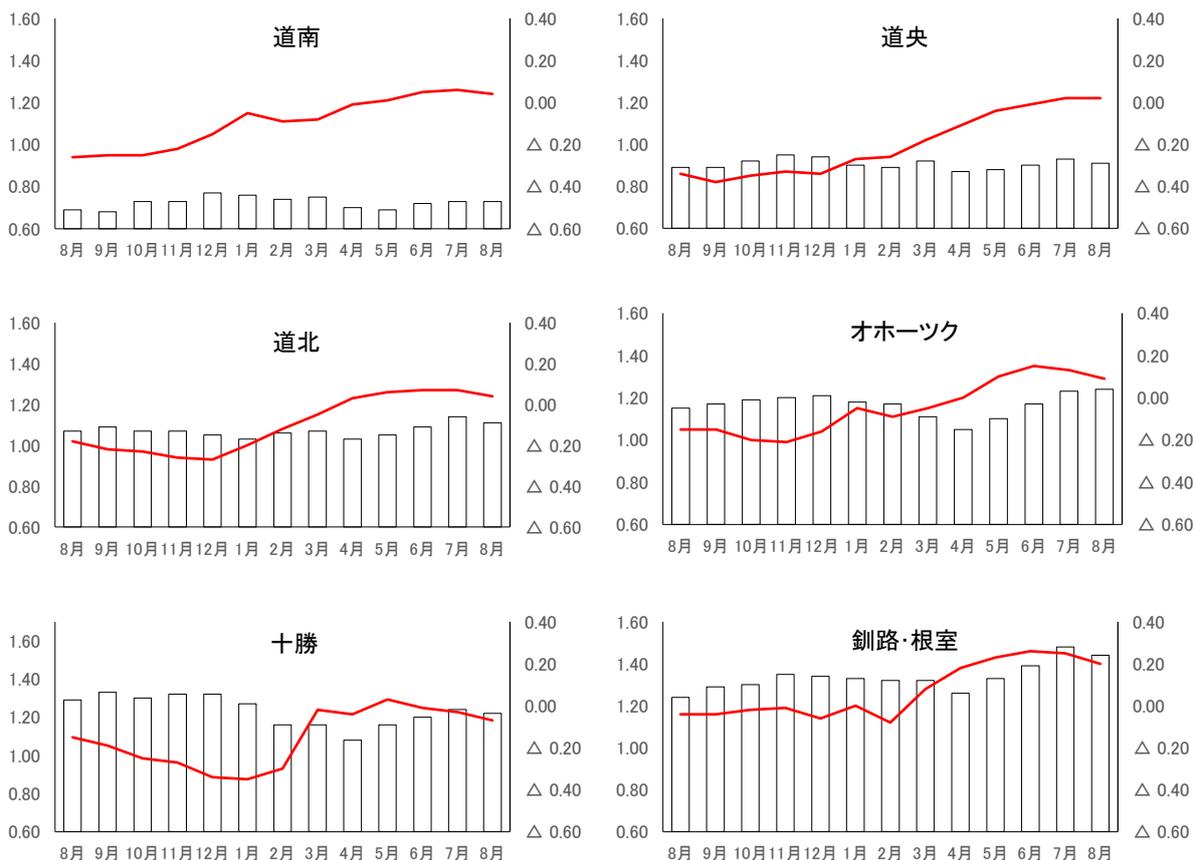
月間有効求人倍率は0.97倍で、前年同月差で0.03ポイントの上昇となり、3か月連続で前年を上回った。

(倍)

(前年同月差：ポイント)



■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和3年4～6月）

完全失業者数は8万人で、前年同期と比べ1万人減少している。  
完全失業率は2.9%で、前年同期と比べ0.4ポイント減少となっている。

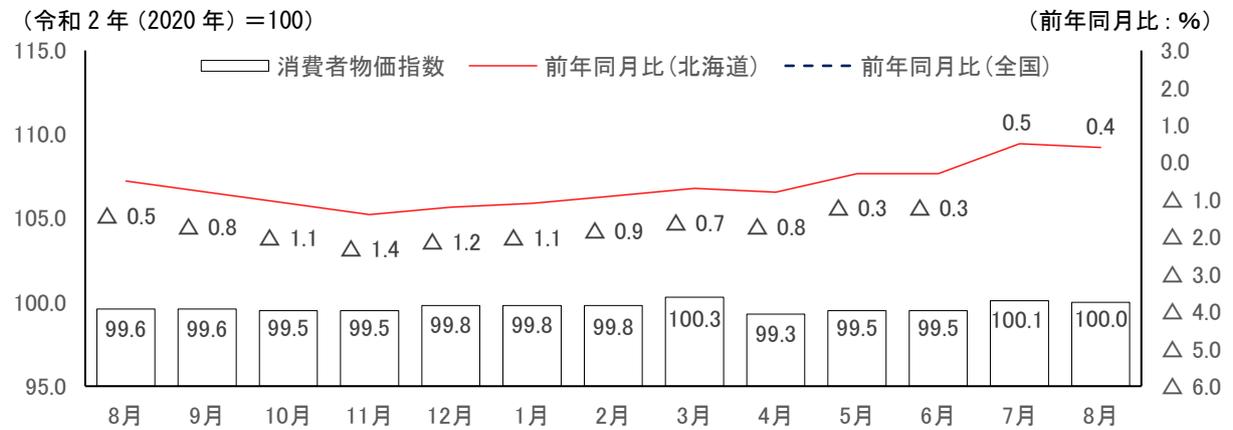


(資料:総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を上回った

### 消費者物価指数（8月）

消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、100.0 で前年同月比 0.4%の増加となり、2 か月連続で前年を上回った。



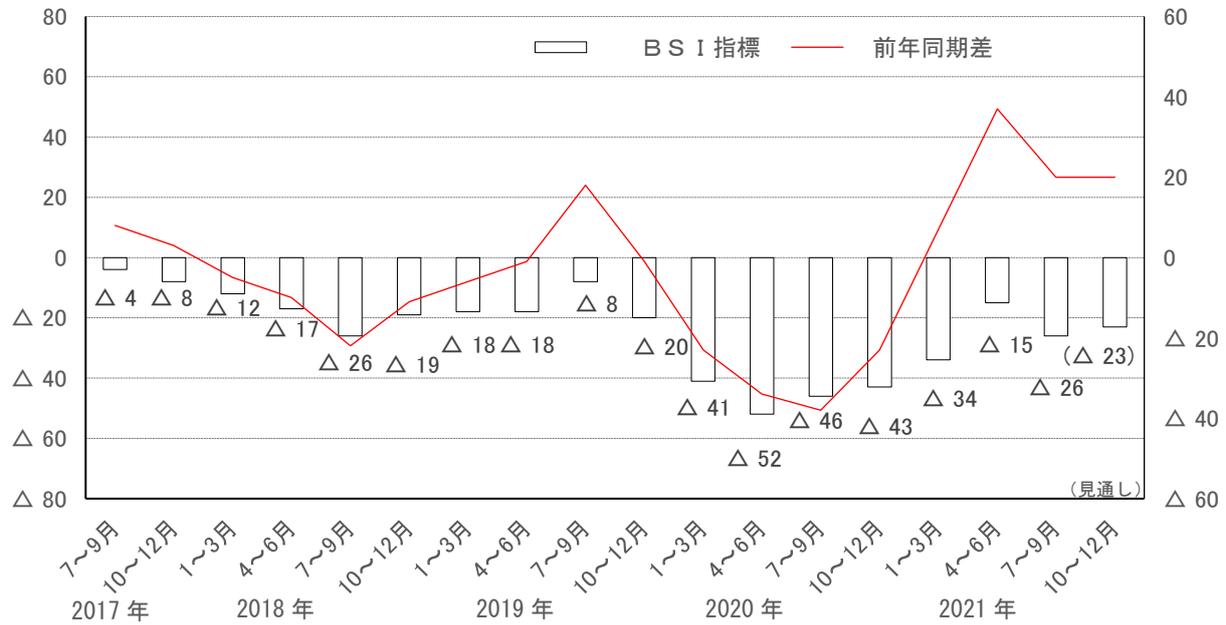
(資料:総務省)

## ■企業経営者意識調査～前期から下降している

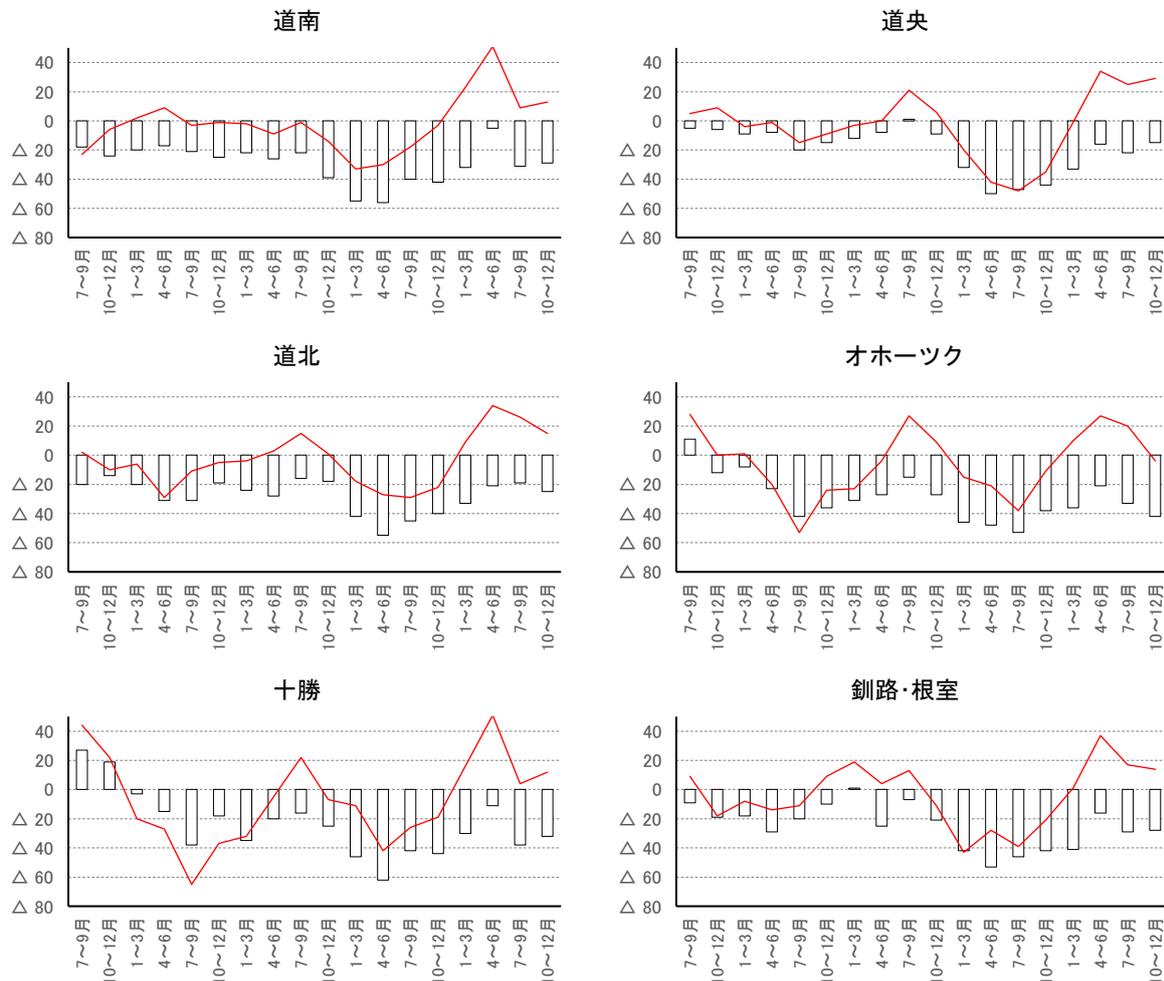
令和3年7～9月期の業況感BSIは△26ポイントで、前期から11ポイント下降しており、前年同期より20ポイント上昇している。来期見通しは△23ポイントで、今期から3ポイント上昇の見通しとなっている。

(BSIポイント)

(前年同期差：ポイント)



## ■各圏域の業況感BSI (折れ線グラフは前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

【緊急事態宣言により来店客数減少、おせちの予約は昨年に引き続きは好調】

9月は8月末下旬からに発令された新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が9月いっぱいには月末まで及んだため、来店客数が減少し、それに比例して売上も低調となった。

品目別では、衣料品が一部の特選ブティックを除き依然として低調で、入店客数に大きく左右される食料品も、特にお菓子などで厳しい状況となった一方、昨年好調であったおせちの予約は、年末年始の旅行を控える傾向からか、今年も好調なすべり出しとなっており、百貨店オリジナル商品や有名店のおせちなどが人気となっている。

【10月は宣言解除で回復傾向、衣料品に動き】

9月末で緊急事態宣言が解除されたため、10月に入ると売上・入店客数とも改善傾向となっている。これまで不調が継続していた衣料品についても動きがみられ、自粛期間が明け、外出する気持ちが戻り始めている影響ではないかと感じている。

今後もコロナの状況次第で様々な影響が及ぶことが考えられるため、これまでの顧客以外にも、デジタルを活用した積極的な働きかけが必要と考えている。

### ◆スーパー（道央地域）

【客数で好調を維持】

9月は、緊急事態宣言が解除されるという報道以降に、客単価が若干前年割れすることもあったが、客数が前年を上回り、売上全体としては好調を維持している。

なお、9月時点では、商品価格上昇に関わると思われるお客様の買い物行動の変化は感じていない。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

【緊急事態宣言の延長で人流は減少、家庭内消費は堅調】

9月は全期間にわたって緊急事態宣言が延長となり、店舗の立地別の需要動向は8月から特に変化はないが、道民割やGOTOなどの観光対策が打たれた昨年と比較すると人流は減少しており、シルバーウィークの人手も減少している。

品目別では、酒類が昨年9月に増税前の駆け込み需要があったため前年比で反動減となったが、値上げを控えているタバコの駆け込み需要があり全体の売上がけん引したほか、家庭内で消費するものの需要は堅調だった。

## 最近の経済動向

令和3年10月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>